

こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.332 2017.8.30 連絡先 402-1622 >



「wish you were here」 あなたがここにいてほしい

「12月まで28も講演依頼があります。核兵器と安倍政権。関西なので橋下維新を加えて、三つの敵とたたかいます」。関西学院大教授で原水爆禁止世界大会起草委員長の富田宏治さんの、8月以降の抱負です▼核兵器廃絶と安倍政権打倒は串刺しの課題です。「歴史的な核兵器禁止条約の国連会議に行きながら、わざわざ“反対”を表明し退席する政権ですからね」。条約は122カ国という圧倒的な多数の賛成で採択されながら、いまもって「核保有国と非保有国の橋渡し役になる」とは詭弁（きべん）だと▼「反対する向こう側に渡った。橋渡し役をみずから放棄して分断をより広げました」。世界が“唯一の戦争被爆国”の日本に期待したのは条約に入り核兵器を広島、長崎に落とした米国を含め核保有国を説得する役割です▼空席となった日本の席に置かれた折り鶴に書かれた言葉に表れています。「wish you were here」。「あなたがここにいてほしい」のです▼「賢人会議」という有識者会議を秋にもスタートさせて「橋渡し役」のさらなる口実を考えさせようという安倍首相です。「もう被爆者の願いにそむく安倍はいらない。市民と野党の共同をさらに広げ



てまともな自民、保守と対話してアベ独裁は許せない共同を」と富田さんは呼びかけます▼最新刊の『核兵器禁止条約の意義と課題』でも「世界の急テンポの動きを見ると、安倍政権を倒さないと日本国民は世界に顔向けができません。日本国民の国際的な責務です」と。

8月22日付 しんぶん赤旗「潮流」より

みち子のひとりごと 言いわけ

今年の8月は、原水禁大会をはじめ、出かけることも多かったのですが、次女（子ども2人）と長女（子ども3人）が別々に来たため「ばあば」の日々も多く、みさき公園、那賀スポレクセンターとプールも2回行き、一段と黒く…。みんなプールが好きですが、長女の一番下2才の男の子、初めは嫌がっていたプールに途中から入ると言い出し、時間が来ても帰りたいくないと。「楽しさに気づくのがちよっと遅かったねえ」と娘。

帰るときになって、「ばあばがお母さんの代わりに運転して神戸に帰ろうかな?」と言うと、小2の孫「いいけどさあ、ばあばが来てもご飯作れないから」と。「えええ? ばあばが作ったご飯食べてお母さんは大きくなったんだよ」。

そういえば、出かけていて昼も夜も家では作らなかつたからと納得。だけどね、ばあばは一人でじいじの役もしなくちゃならないからね、大変なんだよと内心孫に言いつけています。



こんにちには

原やすひつとです

演説といえは、街頭での演説がいちばん難しい、というのは経験したものでなら誰しも思う。

不特定多数の無関係な人びとに向かって、しかも一方的に話をするのだからこれほど難しいことはない。聴きたくない人にとってはそもそも迷惑なことだろう。そんな人びとを含めて不特定多数に話しかけるのだから骨が折れる。だから、多くの



びとが関心をもっているだろうことから話すのが常道

だ。こちらの言いたいことと、人びとが関心をもっていることとはなかなか一致するものではない。そこをどう語ってゆか、冷や汗をかきながら毎回やっている。

だけど、なんといいっても大事なことはハートである。こころのない演説はこころに響かない。「こころ」を込めて演説を、いつも心がけている。

ある日ある時ある場所で

A「じゃ、今度の集まりのときに集金します。」

O「わし、そんなとき、腹痛あなるわ」

A「おお、それはよかったよかった」

一同「??？」

A「だってよ、払いたあなるんやろ」

...

一同大爆笑

AさんもOさんも「はらいたあなる」と言いました。

—憲法学習会— 安倍政権の 新たな改憲提言について

自衛隊を憲法に書き込む改憲は
何をもちたらすか

学習院大学大学院 法務研究科
青井 未帆教授

9月20日 (水)

会場 18:00

開演 18:30

華月殿 5階 八州

入場無料・予約不要

主催：和歌山弁護士会
共催：日本弁護士連合会

核の傘 いつまで言うのか

被爆国

丁寧な説明いらぬ 真実を

安倍組閣 顔ぶれ代えても

変わらない

宮井明夫

